

基本目標Ⅲ

恵まれた立地条件を活かした 産業活力の向上・ 社会基盤づくり

3つのプロジェクト

基本目標Ⅲの実現に向けた施策展開の方向である「はばたけ群馬の経済戦略」、
「イメージアップ、地域ブランド力の向上」、「社会基盤づくり」を推進するため、
次の3つの重点プロジェクトを設定します。

3つの重点プロジェクト

プロジェクト13

はばたけ群馬の経済戦略プロジェクト

- 群馬の産業の強みを活かす経済戦略
- 次世代をリードする産業を創出する経済戦略
- 地域に根ざした産業の活性化

本県の限りない可能性を最大限に活かし、地域産業の活力を高める

プロジェクト14

ぐんまイメージアップ プロジェクト

プロジェクト15

はばたけ群馬の 社会基盤づくり プロジェクト

プロジェクト13

はばたけ群馬の 経済戦略 プロジェクト



プロジェクトのねらい

人口減少・少子高齢化の進行、グローバル化の進展など、我が国を取り巻く社会経済環境が大きく変化し、また、国内の地域間競争も激化する中、地域が持続・発展を続け、県民の生活を支えていくため、次代をにらみ、本県の持つさまざまな技術・資源などを活かしながら発展する取組、新たな産業の創出などを推進していきます。

主な取組

群馬の未来を見据えた経済戦略の展開

社会経済情勢が刻々と変化する中、現状を把握し、広く産業界等の意見を聞きながら、群馬の未来を見据えた経済戦略を展開していきます。

群馬の産業の強みを活かす経済戦略

1 ものづくり産業の振興

本県に集積するものづくり産業について、次代へ向けて発展していくための取組を推進します。

(1) ものづくり産業の振興

(財)群馬県産業支援機構を産業技術センター内へ移転し、中小企業の経営や技術開発を支える各種相談窓口のワンストップサービス*を目指します。また、きめ細やかな経営支援のため、県内金融機関や商工団体等による中小企業サポーターズ制度を実施します。さらに、制度融資*による中小企業の資金調達の円滑化や積極経営の展開、創業、技術開発、販路開拓等を支援します。

産業技術センターや繊維工業試験場等の公設試験研究機関において、産業界のニーズに応える研究・開発の支援に取り組みます。特に、本県の公設試験研究機関の強みであり、新技術・新製品開発に必須である計測・分析機能をさらに強化することで、企業の高度な要望にも応える技術支援を行います。

「ものづくり企業」の高い技術力や製品を、展示商談会の開催や商談型国際見本市への出展を通じて県外に広く情報発信し、受注拡大や新規取引のきっかけをつくるほか、産業支援機関等と連携し、県内の大手・中堅企業向けにも展示商談会等を開催し、販路開拓に取り組みます。

2 観光立県ぐんまの推進

国内外へ向けて、「観光立県ぐんま」として確立していくための取組を推進します。

<p>(1) 国内外からの観光客誘客促進</p>	<p>観光客誘客を促進するため、群馬デスティネーションキャンペーンを契機とした集中観光宣伝をはじめ、民間とのタイアップや「ぐんまちゃん家」の利活用などにより、積極的なPRを展開します。</p> <p>北関東自動車道の全線開通を契機として、東北や関西からの誘客拡大を図るため、他県とも連携し、積極的に観光PRを展開します。</p> <p>本県のイメージアップや誘客促進につながる各種コンベンション*を誘致するため、ワンストップ窓口の設置などについての基本方針を定めるとともに、その実現に向けた取組を推進します。</p> <p>海外からの観光客誘客を促進するため、海外メディア（雑誌・マスコミ等）を本県に招へいし、本県の優れた資質を海外にPRするとともに、海外での観光展への出展等を通じて、海外に向けた積極的な情報発信・情報収集を行います。加えて、ホームページ等の多言語表記を促進するなど、外国人の受入れ体制の整備を実施します。</p>
<p>(2) 地域観光資源の整備とこれを活用した振興</p>	<p>上毛三山（赤城山、榛名山、妙義山）、ぐんま百名山をはじめとした本県の豊かな自然や多彩で魅力的な温泉を活かした地域振興を図ります。</p> <p>両毛地域をはじめ、他県との協働による観光PRなど県境を越えた広域連携による観光振興を推進します。</p> <p>新たな視点により地域資源を見直し、その利活用を行うことで新たな旅行形態として期待が高まっている医療ツーリズムなどのヘルスツーリズム、農山村地域におけるグリーンツーリズム*、産業観光などのニューツーリズム*について、関係者と連携し、課題や解決策などを検証したうえで、取組を支援します。</p> <p>観光地がさらなる魅力アップを図り、集客力を強化するため、千客万来支援事業等により観光地整備や観光宣伝を支援します。</p>

3 農業王国・ぐんまの発展

本県の強みである園芸、畜産を中心に生産振興や、販売力、セーフティネットの強化に取り組み、農業を担う人が安定した所得を確保できる魅力ある産業として発展していくための取組を推進します。

現在進行している「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)*」に関する情報収集に努め、必要に応じ、今後、本計画に反映させます。

<p>(1) 競争力のある農産物を創り出す農業の振興</p>	<p>市場や消費者の多様なニーズに対応できる競争力のある園芸（野菜・果樹・花き）産地の育成や、安定生産のための基盤強化を推進します。</p> <p>家畜の改良や自給飼料の生産・利用拡大、耕畜連携などにより、地域と調和した生産性の高い畜産経営の確立を図ります。</p> <p>水田の有効活用に向け、担い手への農地の面的集積や集落営農*組織の育成などによる経営の効率化や、新規需要米（米粉、飼料用米、飼料イネ）の生産拡大を支援します。</p>
--------------------------------	---

	<p>パブリシティ*活動等による戦略的な広報・PRや、新たな取引に向けたコーディネート支援により、県産農産物の販売力を強化します。</p> <p>県オリジナル品種の導入や生産拡大への支援により、こんにゃく・養蚕・水産などの地域の特色ある農畜産物を振興します。</p> <p>試験研究における技術開発や米麦、野菜、果樹、花きなどの品種育成・品種選定に取り組むとともに、開発技術のフォローアップにより、研究成果を効果的かつ効率的に現場に普及します。</p> <p>経営の安定・継続を図るため、国の経営安定対策の活用等によるセーフティネットの活用支援や、省エネルギー技術等の普及・定着による低コスト生産の推進に取り組みます。</p> <p>ライフサイクルコスト*を低減するストックマネジメント手法*による機能保全対策の推進や、低コスト整備手法により、農地や水路などの生産基盤を保全・整備します。</p> <p>担い手への農地の利用集積や、地域の実情に即した耕作放棄地対策などにより、農業生産を支える農地の有効利用を促進します。</p> <p>農業水利施設の整備や農業災害補償制度の活用により、安全で災害に強い農村づくりを進めます。</p>
<p>(2) 環境と調和した農林業の持続的な発展 ～ 鳥獣被害の防止など</p>	<p>野生鳥獣の適正管理を推進し、地域ぐるみの鳥獣被害対策の強化により、農林業被害の防止、軽減を図ります。</p> <p>農業生産工程管理(GAP)*手法の導入推進などにより、環境保全型農業の取組を推進し、生産活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。</p> <p>地域住民の協働による農業生産活動を通じた国土の保全・水源のかん養・美しい農村景観の形成などの、農業・農村の持つ多面的機能を保全する取組を支援します。</p>

4 関東一の森林県から林業県への転換

充実した森林資源と地理的優位性を活かして林業を再生し、「森林県ぐんま」から「林業県ぐんま」への飛躍を図ります。

<p>(1) 森林の再生と担い手支援</p>	<p>素材生産目標40万m³に対応した県産材センター等木材の加工・流通拠点整備に取り組みます。</p> <p>作業路網等の生産基盤の集中的整備・施業団地*の集約化、また、県産木材の加工・流通体制強化と利用拡大などを通じて、産業としての林業の再生を図ります。</p> <p>豊富な森林資源を有効に活用するため、ぐんま林業学校や森林施業プランナー*研修などにより、林業を支える人材を育成します。</p>
------------------------	--

次世代をリードする産業を創出する経済戦略

1 低炭素・新エネルギー産業の創出

太陽光、バイオマス*など環境資源に恵まれているという本県の特性に着目し、これらを活かした新産業創出に取り組みます。

(1) 次世代自動車の普及推進	電気自動車用充電器の普及に努めるなど、次世代自動車の普及拡大を推進します。 「群馬県電気自動車等普及推進連絡協議会」を中心に、産学官が連携して、電気自動車等の普及や地域振興に向けた積極的な取組を検討・実施します。
(2) 地域資源を活用した環境新エネルギー産業創出	畜産臭気対策技術を活かした発電、燃料電池用材料の開発など、環境保全と産業創出に取り組みます。
(3) 低炭素型産業構造の創出	日照時間の長さやバイオマス資源等に恵まれた本県の特性を活かし、太陽光、バイオマスなど再生可能エネルギー*の導入促進を支援します。 低炭素社会*構築に向けた事業者による省エネ診断や省エネ改修などの取組を支援します。 最先端技術や関連業界の動向把握、情報提供を行い、県内中小企業の環境関連産業への参入を支援します。 新エネルギー産業などの次世代環境技術に関する研究開発を産業技術センター等で支援します。

2 戦略的な国際施策の推進

アジア諸国の台頭やグローバル化を見据えつつ、本県産業の特性を踏まえた海外市場への参入を支援する取組を推進します。

(1) 戦略的な国際施策の推進	海外でのビジネス展開や外国人誘客促進等を効果的に推進するため、県内産業の実態やニーズ等を幅広く把握し、本県経済の活性化に向けた国際戦略を策定し事業展開を実施します。 中国に国際戦略推進の拠点となる総合情報センターを設置します。
(2) 県内企業のグローバル経済対応支援	企業へのタイムリーな海外情報と具体的な海外販路開拓手法の提供を行います。 「海外ぐんまサポーターズ」設置など、グローバル経済に対応できる戦略的な海外ネットワークを構築します。
(3) 海外ブランド化創出支援	本県地場産業の海外市場開拓を促進するため、国際展示商談会等への出展を支援します。 本県企業の優れた技術力や製品を国内外へ情報発信し、販路拡大を図るため、大都市圏での商談型国際見本市への出展支援を行います。 「群馬県農畜産物等輸出推進機構」の積極的な活用などにより、県産農畜産物の海外販路開拓による新たな需要創出のチャレンジを支援します。

3 次世代産業の創出

新たな成長が見込まれる分野について、産業創出を行っていくための支援・振興、産学官連携*を推進します。

<p>(1) 新たな成長分野への支援・振興</p>	<p>次世代産業振興を総合的に推進するため、産学官民一体となった「群馬県次世代産業振興戦略会議」を設立し、異業種交流を図ります。(平成23年度設置済み)</p> <p>産業用からサービス分野への用途の拡大が期待されるロボット産業や、電気自動車に代表される次世代自動車、医療、福祉に加え、食品も含んだ健康科学産業、環境・新エネルギー等の環境関連産業、さらに海外からの誘客やニューツーリズム等の新たな視点による観光産業など、本県の強みが活かせる市場性、将来性が期待される産業分野の振興を図ります。また、補助金による新技術・新製品の開発や産業技術センターにおける共同研究、調査研究事業などにより、次世代産業を担う技術・サービス・商品開発等を支援します。</p>
<p>(2) 産学官連携の推進</p>	<p>環境・新エネルギー、レアメタル*、医療(健康)、メカトロ*・ロボット分野の研究開発拠点を狙った取組を推進します。</p> <p>「東洋大学LiFE研究会」等との産学官連携による生命、食、環境などの研究開発に取り組みます。</p>

4 企業誘致と拠点集約化への対応

高速交通ネットワークの拡充など大きく変わっていく立地条件を見据えつつ、次世代をリードする産業に重点を置いた企業誘致を推進します。

<p>(1) 企業誘致</p>	<p>知事のトップセールスによる誘致活動(企業立地セミナー)や大都市開催の企業展への出展等により、本県の優れた立地環境や高い技術力が蓄積する産業集積、県内に進出した企業による群馬の魅力の県内外への発信など、市町村等と連携して企業誘致を推進します。</p> <p>企業誘致推進補助金を活用し、県内に立地する企業の初期投資を軽減することで、企業誘致を推進します。特に、市町村や関係経済団体等と策定した企業立地促進法に基づく4基本計画(アナログ技術産業*、基盤技術産業*、健康科学産業、環境関連産業)を踏まえて企業誘致を推進し、既存の産業集積(製造業)を活かし、将来性が期待できる産業分野の集積を促進します。</p> <p>展示商談会の開催、商談型国際見本市への出展を通じて、「ものづくり企業」の高い技術力や製品を県内外に広く情報発信することにより、県内の優れた企業集積をアピールし、県内への企業立地を促します。</p> <p>計画的な産業系団地の整備や工業用水の安定供給に取り組みます。</p> <p>国際物流拠点*に対する支援など、効率的な物流環境の創出による県内企業の活性化や競争力の強化を図り、併せて、北関東自動車道の全線開通により、高速交通網の結節点として物流拠点の優位性がさらに高まることをアピールすることで、物流拠点の誘致を図るとともに企業の拠点集約化の際に本県への集約を促します。</p>
<p>(2) バックアップ機能の誘致</p>	<p>企業等のバックアップ機能の本県への誘致に向け、県内市町村・経済団体等からなる誘致協議会を運営し、官民の協働による誘致活動を展開します。</p>

地域に根ざした産業の活性化

中心市街地のにぎわい再生、地場産業振興、「食」による地域振興など地域に根ざした産業の活性化に取り組みます。

(1) 中心市街地のにぎわい支援	中心市街地のにぎわい再生に向け、商店街団体等によるさまざまな取組を市町村とともに総合的、多角的に支援するほか、集客の核となる大型店撤退後の後継店舗の迅速な出店等を促進します。
(2) 地場産業振興	地場産業の振興を図るため、優れた技術を活かした売れる商品づくりを支援し、展示商談会の開催、展示商談型国際見本市への出展など、市町村や関係団体等と連携して県内外への情報発信に取り組むことで、「ぐんまブランド」の確立を図ります。また、「ぐんまちゃん家」を活用したイベントを開催し、首都圏における販路開拓を支援します。 デザイン面で本県地場製品の競争力を高めるため、デザイン選定、デザイナー派遣などにより、中小企業を支援します。
(3) サービス産業の振興	サービス産業を振興するため、サービスの高付加価値化や生産性向上、業務の効率化等への支援に積極的に取り組みます。また、優れたサービスを提供する事業者を選定し、その取組について広く広報することにより、サービス産業全体のさらなるレベルアップを図ります。
(4) 県産農畜産物を活用した「食」による地域振興	地域に集積する食品企業や大学等と連携し、県産農畜産物を活用した「食」による地域振興に取り組みます。

製造品出荷額

現状
6兆4,594億円
(H21年度速報値)



目標
8兆3,500億円
(H27年度)

企業誘致件数

現状
47件
(H21年)



目標
50件
(H27年)

農業産出額

現状
2,209億円
(H21年度)



目標
2,230億円
(H27年度)

農畜産物輸出額 (群馬県農畜産物等輸出推進機構構成団体扱い額)

現状
9,468万円
(H21年度)



目標
2億円
(H27年度)

宿泊客数 (国土交通省 宿泊旅行統計調査による人数)

現状
589万人
(H21年)



目標
650万人
(H27年)

外国人宿泊客数

(国土交通省 宿泊旅行統計調査による人数)

現状
4万人
(H21年)



目標
10万人
(H27年)

新規林業就業者数

現状
39人/年
(H21年度)



目標
50人/年を維持
(H23~27年度)

プロジェクト14

ぐんまイメージアッププロジェクト



プロジェクトのねらい

本県は、首都東京と近接する優位な立地に位置するとともに、東西南北を貫く高速道路や上越・長野（北陸）新幹線など高速交通ネットワークに恵まれ、また、「草津」に代表される温泉その他の観光資源、東国文化ゆかりの天神山古墳・多胡碑・上野国分寺跡や、富岡製糸場に代表される歴史文化遺産、豊かな環境、自然災害の少なさ、ものづくりの技術、多様な農畜産物など多くの魅力に恵まれています。

本県がその真価を最大限に発揮し、より大きくはばたいていくため、これら本県の魅力を県民とともに再認識し、国内外へ向けて強くアピールしていくことで、実力に見合ったイメージ、ブランド力を根付かせていきます。

主な取組

1 群馬の魅力再発見

地域住民が群馬の魅力について理解を深めるための取組を行うとともに、本県ならではの地域資源を再発見し、磨き上げ、効果的な利活用を図る取組、検討を進めていきます。

(1) 県民の群馬の魅力の再認識醸成	県民が地域の魅力について理解を深めるためのイメージアップ・キャンペーンを展開します。 群馬の良質な食材が地域に浸透し定着するため、地産地消の県民運動を推進します。 群馬の食の魅力、食文化を理解し、食を大切に作る心を育てる食育を推進します。
(2) 地域資源の掘り起こし・磨き上げ、利活用	絹産業遺産*の保存活用に取り組むとともに、富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産*登録の早期実現を推進します。 上毛三山(赤城山、榛名山、妙義山)、ぐんま百名山をはじめとした本県の豊かな自然や多彩で魅力的な温泉を活かした地域振興を図ります。 高崎競馬場跡地をはじめ、さまざまな地域資源の利活用方策の検討を行います。

2 ぐんまブランドの創出

群馬の魅力の地域への定着及び対外的なイメージアップを図っていく手立てとして、他にはない本県の独自性や優位性を県内外へ印象づけていくため、群馬の地域ブランドを確立していきます。

(1) 地域ブランドの創出	群馬の魅力を県内外へ印象づけていくため、「ぐんまブランド」を創出・発信し、確立に取り組みます。
---------------	---

3 東国文化の中心・群馬の再認識

古代の東国文化の中心地であり東日本最大の古墳大国である本県が誇る歴史文化遺産について、調査研究を進め、県民の再認識を促すとともに、観光やイメージアップ等における活用や全国への発信を推進します。

(1) 歴史文化遺産の再認識・環境整備	<p>子どもたちをはじめ、多くの県民が本県の貴重な歴史文化遺産を再認識できるよう促し、郷土への誇りと愛着を育みます。</p> <p>上野国分寺跡などの全国レベルの価値を持つ史跡について、誰もが見に行きたくするような環境整備を進め、貴重な文化財の保護と活用を図ります。</p> <p>岩宿遺跡など旧石器時代から始まる本県の歴史を、豊富な歴史文化遺産によって物語として構成し、新たなぐんまブランドを創出します。</p>
(2) 歴史文化遺産による観光振興・イメージアップ	<p>本県が誇る歴史文化遺産を、群馬の観光資源として磨き上げ、誘客を推進するとともに、リピーターの増加を図ります。</p> <p>全国に向けた群馬の魅力ある歴史文化遺産のPRに力を注ぎ、イメージアップの推進を図ります。</p>
(3) 推進体制の整備	<p>東国文化の発掘・活用・発信のための推進体制を整備し、市町村や県民と連携して推進していきます。</p>

4 群馬の優れた資質を情報発信

国内外に対し、群馬の実力に見合ったイメージアップを図っていくため、本県の優れた資質を効果的にPRしていきます。また、そのための体制を整備します。

(1) イメージアップ戦略のPR展開	<p>群馬デスティネーションキャンペーンを契機とした集中観光宣伝をはじめ、「ぐんまちゃん家」の利活用や民間と連携したイメージアップ宣伝などを通じ、国内におけるイメージアップを図るためのPRを展開します。</p> <p>「ぐんまちゃん家」の機能を強化し、観光PRや物品販売などの充実を図ります。</p> <p>「ぐんまちゃん家」の持つ情報発信の機能を、県内市町村にある地域情報提供施設等に配置します。</p> <p>海外メディア（雑誌・マスコミ等）を本県に招へいし、本県の優れた資質を海外にPRするとともに、海外での観光展等への出展を通じて、情報発信と情報収集を行い、海外に向けたイメージアップを図ります。</p>
(2) 情報発信の充実	<p>イメージアップ戦略の推進、積極的な広報を行うため、県庁内の体制を整備します。</p> <p>「ぐんま大使*」や県のマスコット「ぐんまちゃん」を活用した情報発信を推進します。また、国内外で活躍する本県に縁のある方々を「ぐんま観光特使」に委嘱し、本県の魅力を発信します。</p> <p>Webによる情報発信を推進します。</p>

宿泊客数（国土交通省 宿泊旅行統計調査による人数）



外国人宿泊客数

（国土交通省 宿泊旅行統計調査による人数）



ぐんまちゃん家来場者数



県産農畜産物販売協力店数¹⁾



1) 県産農畜産物(加工品含む)を積極的に利用・販売し、消費者へのPRに取り組む首都圏の小売店・量販店、飲食店等の数。

学校給食への県農産物等利用率



プロジェクト15

はばたけ群馬の 社会基盤づくり プロジェクト



プロジェクトのねらい

本県は本州のほぼ中央に位置し、東京から100km圏という立地に位置するなど地理的条件に優れているとともに、東京圏、信越地方、東北地方、中京圏を結ぶ交通の結節点として、高速交通の十字軸を形成する新幹線や高速道路網の整備が進んでいます。本県をめぐる高速交通網の整備効果を最大限に活かしていくため、関越・上信越・北関東・東北自動車道等と県内各地の接続を向上させる「7つの交通軸」を整備し産業活力や観光集客の向上を目指すとともに、県民生活や産業を支える公共交通ネットワークの利便性向上や情報通信ネットワーク社会の構築を目指します。

また、ハッ場ダムについては、関係する1都4県と連携して建設の促進及び生活再建関連事業の早期完成を求めています。

主な取組

1 県民生活や産業を支える交通ネットワークの整備

地域の自立促進と活性化を支援するために、県内の高速交通ネットワークを効率的かつ効果的に活用できるよう、これらを補完する7つの交通軸を強化する「群馬がはばたくための7つの交通軸構想」を推進します。

具体的には、既存の高速交通ネットワーク（関越自動車道、上信越自動車道、北関東自動車道、東北自動車道、上越新幹線、長野〔北陸〕新幹線）に加え、熊谷渋川連絡道路（上武道路等）、東毛広域幹線道路、上信自動車道、西毛広域幹線道路等の整備を図ります。

(1) 「7つの交通軸」の整備・強化

- 県央軸 ... 国道17号上武道路・前橋渋川バイパスの建設促進、主要地方道高崎渋川線の整備
- 東毛軸 ... 東毛広域幹線道路、国道122号八重笠道路・館林明和バイパス・昭和橋の整備、国道50号前橋笠懸道路の建設促進、伊勢崎駅付近連続立体交差（東武伊勢崎線）の整備
- 西毛軸 ... 西毛広域幹線道路、国道254号バイパス、国道462号、主要地方道前橋長瀬線の整備
- 吾妻軸 ... 上信自動車道の整備
- 三国軸 ... 国道17号綾戸バイパスの建設促進・三国防災の建設促進（新三国トンネル建設実現に向け新潟県と連携）
- 尾瀬軸 ... 国道120号椎坂バイパスの整備
- 渡良瀬軸... 主要地方道大間々世良田線、主要地方道桐生伊勢崎線の整備

(2) 産業集積や農林産物流通の促進支援	アナログ関連産業*、健康科学産業、基盤技術産業*、環境関連産業を軸に産業集積の促進や、県産農林産物の首都圏などへの販売強化を支援する道路等の基盤整備を推進します。
(3) 生活幹線道路の整備	通勤時の交差点や踏切での渋滞解消、歩行者・自転車の快適な通行空間の確保など安全で住みよい地域づくりに取り組みます。

2 県民生活や産業を支える公共交通ネットワークの構築

公共交通の維持・確保を図り、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築を目指します。

(1) 公共交通の維持・確保と利便性の向上	県民の生活に欠かせない公共交通を維持・確保するとともに、ニーズに対応した運行方法の改善や施設等のバリアフリー*化など、利用者の利便性の向上に取り組みます。
(2) 広域交流促進のための公共交通の拡充	公共交通利用の観光客向けに、わかりやすい交通情報の提供や観光地までの2次交通*の整備などを促進します。 本県と東京を結ぶ鉄道や高速バスの運行など、観光やビジネスを視野に入れた広域的な交流を促進する施策について、民間事業者や市町村などと連携して検討していきます。

3 情報通信ネットワーク社会の構築

情報通信技術の飛躍的な発展にともない、地理的・時間的な制約を解消する情報通信ネットワークの整備を促進し、誰もがその利便性を享受できる社会構築を目指します。

(1) 情報通信ネットワーク社会の推進	県内全域のブロードバンド環境をさらに超高速ブロードバンド環境へと整備促進し、ICT*を活用した画像診断システムネットワークの整備や新産業の創出・企業の競争力向上支援等産業活力や生活の利便性などの向上を目指します。 地上デジタル放送をすべての地域で見られるよう、国、市町村、放送事業者と協力して環境整備に努めます。
---------------------	---

4 ハツ場ダム建設事業の推進

洪水から地域の生命・財産を守り、首都圏の水資源の安定確保を行うハツ場ダム建設事業の早期完成に向けた取組を推進します。

(1) ハツ場ダム建設促進	関係する1都4県と連携してハツ場ダムの早期完成を目指します。
(2) 生活再建関連事業の推進	地元住民の方々が安心して快適に暮らせるように、生活再建を支援します。

歩道のバリアフリー*化率



乗合バスのノンステップバス*導入率



通学路の歩道整備率



遠隔医療システム（画像診断等）の導入状況



7つの交通軸に係る道路供用開始予定年度

予定年度	道 路
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・国道145号（ハッ場バイパス） ・東毛広域幹線道路（高崎玉村バイパス〔関越自動車道以西〕）
2 4	<ul style="list-style-type: none"> ・西毛広域幹線道路（富岡工区） ・主要地方道高崎渋川線（2期） ・主要地方道桐生伊勢崎線（阿左美1期）
2 5	<ul style="list-style-type: none"> ・国道122号（八重笠道路） ・東毛広域幹線道路（高崎玉村バイパス、葦塚工区、境工区、太田第二工区、東別所工区、大泉邑楽バイパス）
2 6	<ul style="list-style-type: none"> ・国道120号（椎坂トンネル） ・国道254号（甘楽吉井バイパス） ・東毛広域幹線道路（玉村伊勢崎バイパス）
2 7	<ul style="list-style-type: none"> ・上信自動車道（金井バイパス）

7つの交通軸 主な路線



はばたけ群馬プラン

第14次群馬県総合計画

重点プロジェクト
(平成24年4月1日改定)



平成24年4月1日

群馬県

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1丁目1番1号

TEL 027(223)1111(代表)

ホームページ <http://www.pref.gunma.jp/>